

2016年7月5日

2111号（毎月5, 15, 25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可
1部140円 月額400円
(郵送料月額120円)



発行 日本平和委員会

[神奈川県版 89号]

〒231-0064 横浜市中区野毛町2-6

大沢屋ビル4A

編集責任者 菊谷 節夫

Tel-Fax 045-231-0103

E-Mail info@k-peace.org

参議院選挙で、戦争法廃止・改憲阻止へ少なくとも3分の1の51人以上を当選させたい



浜本大蔵さん

（伊勢原市平和委員会代表）「父の顔を知らない。私が生まれる前に中国に行き、敗戦後、中国で亡くなりました」。30歳を超えてから、二度目の徴兵。現地で病死。「小さい時から父がいないのは戦争があったからだという寂しさがありました」。隣の家の父親は戦地から戻ってきた。「俺の親父は死んだのに幸運な家庭を見ると怪しからんと思ったこともあります」。子供の時の戦争への思いが今につながる。

平和委員会は教材の宝の山でした

県立高校の教師、社会科の主に公民分野（政治経済・倫理・現代社会）を担当。1970年に社会科（公民分野）の実践交流として「全国民主主義教育研究会」が発足し、2年後の72年に神奈川支部が発足。地域民主主義が盛んに言われました頃で、浜本さんは平和教育を担当。「その頃、発足した神奈川県平和教育協議会にも参加して、神奈川県平和委員会に基地パンフをもらいに行ったりしましたね。私にとって、平和委員会は教材の宝の山でした」。神奈川の基地を教材に社会科の授業で平和教育を進めた。「ほとんど、教科書は使わず、自主教材でやっていました」。その頃はそんな自由が許された。「退職する2001年頃から定期試験で社会科でも共通試験をやるよう県教委の指導が強まり、自主教材の授業は難しくなりました」。神奈川の教育にも社会科での愛国心教育と日の丸、君が代の強制がいっそう強まった。

11年間、毎月駅頭宣伝

いせはら市民平和実行委員会の実行委員長を太田道灌末裔の被爆者の会会長から引き継いで20

年以上になる。生協、平和委員会、民商、年金者組合、新日本婦人の会、医療生協など10団体で構成。「5月に平和行進、8月に平和展・平和の集い（今年は8月に平和展、9月4日にシリアの難民の学習会と写真展）を予定しています。そしてその時に、学習会・講演会を開いています」。市と教育委員会が後援。「市内の全小中学生に案内ビラを配っています」。

「9条の会・いせはら」と「戦争をなくす・いせはら共同センター」の事務局を担当。「9条の会は11年間、毎月駅頭宣伝を実施してきました」。生協のお母さんとの憲法学習会は100回を迎える。「私が講師を務めています」と言って「月1回欠かさず、です」と笑顔を見せた。

「いせはらのアゴラ」を第3日曜日の午後開く。

「参加した人が自由に生き方のこと、政治のこと、何でも自分の思いを自由に語る場所です。古代ギリシャ・アテネのデモクラティアにあやかって名付けました」。キリスト教会のグループなど新しい顔も集まってきた。

野党共闘の軸となる日本共産党へ期待

市民の運動が参議院選挙で32の1人区のすべてで野党統一候補を実現。「野党がんばれですね。戦争法廃止、改憲阻止に向けて少なくとも3分の1を獲得するために51人以上を当選させたい」。野党共闘を推進し、その軸となる日本共産党への期待を述べた。「選挙区では、あさか由香さん、比例では日本共産党を躍進させたいですね」と思いを語り「戦争法、憲法と原発、沖縄、TPPは共通の課題ですね」と付け加えた。

趣味は？「無趣味です。しいて言えば本を読むことです」。日本の仏教史を暇があれば読んでいる。「『親鸞』を読むと浄土真宗の平和論に共鳴することが多い。自分の生き方にかかわって、平和論・平和運動を進める上で、宗教者との共同行動を模索したいと思います」。

悪行の数々を繰り返し日本の今と未来を真っ暗にする 安倍内閣を一刻も早く退陣に追い込む絶好のチャンス

〈参議院選挙アピール〉 2016年6月 神奈川県平和委員会



参議院選挙は6月22日公示、7月10日投票で行われます。日本が憲法に基づき戦争をしない平和な国として発展するのか、憲法がないがしろにして戦争をする国となるのかが問われる重要な選挙です。

安倍首相の下で集団的自衛権の行使容認が閣議決定され、安全保障関連法が国民の激しい反対を押し切って強行されました。

安倍首相は「国民の命と安全を守るため」といいましたが、彼のお得意の「嘘とごまかし」です。

憲法9条を度外視して戦争する国に様変わりする「戦争立法」の危険な姿がはっきりしています。

戦争法廃止の声は大きく広がり、戦争法廃止署名は1200万人を超える、参議院選挙は市民の運動が実って1人区の32選挙区すべてで野党の統一候補が決まりました。これは市民の運動の成果であり、画期的なこと。いま歴史が動いています。

安倍首相は憲法9条や緊急事態法の制定など憲法を全面的に改悪する意図を示しています。国的情形を全面的に改悪する策動を断固許すわけにはいきません。沖縄・基地問題をはじめアベノミクス、TPP、原発、消費税、社会保障、雇用、子育てなど安倍政治のすべてが問われます。

立憲主義を取り戻し、民主主義を確立する重要な参議院選挙の闘いはスタートしています。私たちは、この歴史的な選挙の勝利めざし役割と力を発揮する時です。悪行の数々を繰り返し日本の今と未来を真っ暗にする安倍内閣を一刻も早く退陣に追い込む絶好のチャンスです。自民党・公明党と補完勢力を大きく後退させ、戦争法廃止、憲法擁護の勢力を大きく前進させようではありませんか。いま頑張らざつしていつ頑張るのか。平和委員会の仲間たちの奮闘を心よりよびかけます。

今と未来を輝かせましょう。

43日間連続で拡大 会員1481人

「日本平和委員会全国大会」が神奈川で開催

6月11日～12日、日本平和委員会全国大会が相模原の麻布大学で開かれました。県平和委員会は100人以上が参加し、大会を支えました。

開会総会で菊谷理事長は「全国大会に向けて43日間連続で拡大を記録し会員1481人」と報告し、大きな拍手がおきました。

安倍政権を追いつめている

平和委員会千坂事務局長は「活動方針」の補足が提案。「戦争法廃止、憲法守れの歴史的な闘いが新たな展望を切り開いている。沖縄の新基地建設阻止、基地撤去の闘いも安倍政権を追いつめている」と述べ「参議院選挙で審判を下し、安倍政権の改憲、戦争する国づくりをストップさせ、新しい平和の一歩を勝ち取りましょう」と、呼びかけました。

全体討論では神奈川から2人が発言。(1)田中武夫さん(相模原)は「戦争法案反対、廃止の

共同の取り組みの真ん中に平和委員会が座った。仲間づくりの統一行動で250人目標を達成」

(2)蒲谷俊郎さん(大和)は「戦争法と横須賀・厚木基地の機能強化の動き」を報告。

県平和新聞は特別賞

麻布大学生協食堂で「全体交流会」。猪股美根子、猪股ゆり親子による歌から始まり、代表委員の堀内静夫さんから歓迎のあいさつ。



麻布大学吹奏楽部の
歓迎の演奏

12日は分科会に分かれ討論。12時45分から全体会場で麻布大学吹奏楽部による歓迎の演奏には感激。仲間づくり表彰では神奈川平和委員会は昨年の全国大会から会員、平和新聞、平和運動誌共にベスト3位と報告。県平和新聞は特別賞を受賞しました。

中村 治男さん(2万円)

伊豆 利彦さん(1万円)

ご協力ありがとうございました。

<訂正>

○神奈川県労働組合総連合会(誤)→
(正)神奈川県労働組合総連合

○山木・増田総合法律事務所(誤)→
(正)山木・増田総合事務所

○菊池克則(誤)→(正)菊地克則

○建部由美(誤)→(正)建部由美子

*前号の県平和新聞で掲載が漏れた団体、名称を間違えた団体・個人について深くお詫びします。

<名刺広告>

祝 日本平和委員会第66回定期全国大会

憲法改憲阻止!

神奈川憲法会議

横浜市中区日本大通り17 JPR日本大通ビル8F
横浜合同法律事務所内 事務局長 浅川 寿一

日本平和委員会全国大会の成功のために募金を
いただきました。

坂元 真澄さん(5万円)

何かRR変だぞ？

昨年12月3日、米原子力空母ロナルド・レーガン（以降：RR）が横須賀に戻ってきました。

年明けの1月から、例年通り約4カ月に及ぶメンテナンスが実施されました。

原子炉には及ばないことになっているはずのメンテナンスですが、今回も例年通り、メンテナンス終了後の4月28日には、放射性汚染物資の搬出が強行されました。

ここまで例年通りでしたが、以上が始まったのはこの後、自動小銃を手にした米兵を乗せたゴムボート（下写真）が搬出作業の警備のために現われました。

自動小銃(模擬銃)携えて警備する

アメリカ海軍兵

廃棄物輸送船



メンテナンスが終了したのを受け、5月3日から、RRの艦載機による通称NLP（夜間連続離着陸訓練、正式にはFCLP：地上における空母着艦訓練）が、硫黄島で実施され、通告された13日までに全行程を終了しました。

一方、RRは5月9～13日、所定の試験航海において不具合が検出され、再度、修理・調整が行われ、31日から6月1日にかけ再度試験航海を実施した後、6月4日、横須賀を出港しました。

出港の遅れにより当初のNLPが米海軍の規定により無効となったため、再度NLPが行われましたが、これまでのように厚木基地で強行することはなく、すべて硫黄島で実施されました。

また、出港後の空母を使って行われる、空母着艦資格取得試験（CQ）も、これまでより実施期間を少し延ばしたもの、22時以降の飛行禁止時間帯での飛行も、1回2機にとどまり、例年のように連日、深夜に及ぶような厚木基地への帰投はありませんでした。

このことは、飛行実態の調査・分析に基づく適切な要望に米軍が応えたものとして評価できます。

異常と思われる事態は、この後発生しました。

基地対策委員会 蒲谷 俊郎

例年だと、CQを終えた空母は西太平洋方面に作戦展開するのですが、RRはCQを実施した、伊豆諸島東側の「C訓練海域」に約1週間留まっていました。

ジョージ・ワシントンは、東日本大震災時、洋上でメンテナンスを実績を持っていますし、この1週間に何が行われたかは現時点では不明です。

RRは6月18日、フィリピン海で米原子力空母ステニスと合流後、西太平洋海域へ作戦展開。ステニスはリムパック演習参加後、帰国するものと思われます。

厚木に海兵隊機の飛来頻繁

NLPが実施されている硫黄島で記者会見を行った米第7艦隊の作戦部長は「艦載機は硫黄島へ移駐した後も厚木基地を使用する」旨の発言を行いました。

（記者からの情報では、この発言は即日撤回）

最近では、事故多発のオスプレイをはじめ、F/A-18C、AV-8などの海兵隊機の厚木基地利用が目立っています。

AV-8ハリアーはオスプレイ同様、垂直離着陸機能を持つジェット機で、侵攻作戦を主体とする海兵隊特有の攻撃機です。

艦載機の移駐は決まりましたが、これに換わって厚木基地に移駐することになっていた海上自衛隊機は岩国に残留することになりました。

手狭になった岩国から海兵隊機の厚木飛来が増えるのは当たり前の話です。三沢やアラスカなどからも米軍機が飛来しています、米国との間で1／3に縮小されることが決まっている在韓米軍も、厚木基地の下調べをすでに終えています。

最近では聞かれなくなった「米軍再編」は現在でも着々と進行中なのです。

海兵隊の垂直離着陸ジェット機

AV-8 ハリアー攻撃機



2016/05/04

平和委員会あっちでもこっちでも 県議会へ陳情

6月8日、県議会に「米軍による目的外の基地使用に抗議し、中止を求める陳情」を提出。去る4月25日、29日神奈川区の米陸軍横浜ノースドッグにおいて米空軍横田基地所属のヘリコプターが日本側への無通告の特別訓練を実施。この訓練は提供施設の目的外使用であり県として抗議と中止を求めました。

座間・綾瀬平和委が大会・総会

○座間 5月28日第11回定期大会を開催。講師に川田忠明氏（日本平和委員会常任理事）を呼び講演。会員以外の人も参加し、当日呼びかけに応えて加入しました。

○綾瀬 5月29日第2回総会を開き、13人が参加。議案提案後、参加者の交流会。DVD「証言・侵略戦争」を上映しました。

川崎医療生協ナイトセミナー



6月7日、平和委員会メンバーの呼びかけでナイトセミナーを実施し、映画

「日本国憲法」を上映。若い人が多く20人を超える参加。「9条が大切なことをあらためて思った」など感想が述べられました。

15日定例宣伝

6月15日、平和委員会による定例の15日宣伝。桜木町駅前で実施し5人参加。沖縄連帯支援と15日の県民集会をよびかけ、戦争法廃止めざし、参議院選挙で野党を前進させようと訴えました。



<案内>

講演のつどい

米軍に特権を与える「日米地位協定」

講師 末浪靖司氏（ジャーナリスト

・日本平和委員会常任理事）

<特別報告>山崎正則氏（米軍被害者の会）

8月27日（土）13時30分

会場 波止場会館4階大会議室（大桟橋入口）

資料代 500円

主催 神奈川県平和委員会

怒りと悲しみは限界を超えた 沖縄で・国会前で大集会

6月19日、沖縄で、米軍属による女性暴行殺害事件に追悼・抗議する県民大会が開かれ、6万5千人が参加。翁長知事は「このような女性の人权を蹂躪する卑劣な犯罪は断じて許せない」と述べ「安倍首相に抗議した際、日米地位協定の見直しを強く要望した。凶悪事件が継続して発生したことは広大な米軍基地がある故だと申し上げた。しかし、安倍首相は日米首脳会議で地位協定の見直しに言及せず、辺野古移設が唯一の解決策といっている」と厳しく批判し「2度とこのような事件が起きないよう地位協定の抜本的見直し、海兵隊の撤退削減を含む一の整理縮小、新辺野古基地建設阻止に取り組んでいく」と不退転の決意を表明しました。

海兵隊は今すぐ出ていけ

沖縄県民集会に呼応し、いのちと平和のための国会大行動が総がかり行動実行委員会のよびかけで行われ、1万人が国会正門前に結集。



国会正門前 = 6月19日

県平和委員会は旗を掲げ参加。「女性の殺害絶対許すな」「地位協定は抜本改定」「海兵隊は今すぐ出ていけ」とコールをあげました。

【当面の日程】

7月10日（日）参議院選挙投票日

15日（金）戦争法・沖縄定例宣伝行動

21日（木）17時 憲法会議総会

於横浜合同法律事務所

18時30分

県平和委常任理事会 於県民サポート7階

23日（土）民医連平和集会

於鶴見公会堂

24日（日）代表委員会会議

30日（土）13時30分

県平和委員会地域事務局長会議

於平和と労働会館3階会議室

8月2日（水）から4日

原水爆禁止世界大会国際会議於広島

4日（木）から6日（土）

原水爆禁止世界大会 於広島

7日（日）から9日（火） 於長崎

15日（月）戦争法・沖縄定例宣伝行動